

～品川区で地域課題・行政課題の
解決を図る事業の募集・助成～

令和7年度
ウェルビーイング・SDGs推進ファンド
募集説明会

ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会事務局
2025年6月13日・17日

品川区のSDGs推進について

品川区が「SDGs未来都市」および
「自治体SDGsモデル事業」にW選定されました

「SDGs未来都市」 「自治体SDGsモデル事業」 内閣府よりW選定

品川区はSDGsの達成に向けて優れた取り組みを提案する都市として、内閣府から2024年度の「SDGs未来都市」に選定されるとともに、中でも特に先導的な取り組みを行う「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。
令和6年5月23日には、2024年度SDGs未来都市等選定証授与式が開催され、品川区長が選定都市を代表して所信表明を行いました。



⇒「品川区SDGs未来都市計画」の策定

テーマ：ウェルビーイングの視点から

～子どもとともに成長する新時代のSDGsしながわ～

⇒「子ども」・「産」・「学」・「官」による共創

品川区の取組み紹介 1 (しながわSDGs共創推進プラットフォーム)

・しながわSDGs共創推進プラットフォーム

- 持続可能な地域・社会づくりに取り組む事業者・団体等が会員
- 多様なステークホルダー同士のゆるやかなつながり
- 2024年度は交流会を2回開催（9月、2月）
- 会員は通年募集（※申請要件あり）



- ※（1）区内に本店、支店、営業所、商店等が所在し、寄附や協賛等により区に貢献している企業
※ウェルビーイング・SDGs推進ファンドへの寄附も可
- （2）区と包括連携協定を締結している企業
- （3）区内において社会貢献活動を行っている団体等で区長が認めるもの ※審査あり

-会員の主なメリット

- ・「しながわシティラボ」HPへのロゴ掲載によるPR・ブランディング
- ・会員イベント等による他の会員との交流・連携
- ・メールマガジンを通じたしながわシティラボの最新情報の受け取り 等

品川区の取組み紹介 2 (しながわシティラボ①)

・「しながわシティラボ」概要

-行政×企業等のリソースを持ち寄り、品川区の社会課題の解決を目指す

①「課題解決型」

：品川区からテーマを発信

②「実証実験提案型」

：テーマを問わず募集

【参照】しながわシティラボHP

(<https://shinagawa-citylab.jp/>)



-提案・実施にかかる経費は提案者負担

⇒ ウェルビーイング・SDGs 推進ファンドへの同時申込みも可

品川区の取組み紹介 2 (しながわシティラボ②)

• 区が発信中の課題

- 都会における人とペットとの共生
- 地域の防災力向上にむけた企業との連携
- Not Loneliness ～企業×地域の絆プロジェクト～
- 地域公共交通のさらなる利便性の向上
- 中小企業における脱炭素化の推進
- 子どもが安心してチャレンジできる環境づくり

• 実証実験例

- 「子育て家庭の食」に関する課題解決 (実証実験提案型)
- 拠点型テーマ発見コミュニティの運営 (課題解決型) 【ファンド事業】



ウェルビーイング・SDGs推進ファンド 概要①

• 特徴

- 実施主体：ウェルビーイング・SDGs推進事業実行委員会
- SDGsに資する地域課題・社会課題を解決する企業・団体等のプロジェクトに対して資金提供（審査あり）
- 民間人材が支援要件や対象事業の決定に関わる
- 区や民間企業等から募る資金が財源

• 支援内容

- 採択事業に対して、最大2年間の助成（年度ごとに審査あり）
 - ・1年目：上限500万円（助成対象経費の5分の4以内）
 - ・2年目：上限300万円（助成対象経費の2分の1以内）

ウェルビーイング・SDGs推進ファンド 概要②

- 申請できる企業・団体等：(1)から(4)のいずれかに該当し、(5)を満たす

(1)日本国内にて次の法人格を取得している団体

一般財団法人、一般社団法人、公益財団法人、公益社団法人、社会福祉法人、特定非営利法人

(2)中小企業：中小企業基本法に基づく中小企業者

ただし、発行済株式の総数又は出資金額の2分の1以上が同一の大企業の所有に属している会社、大企業の役員を兼ねている者が役員総数の2分の1を占めている会社は含まないものとする。

(3)スタートアップ企業：創業5年以内で国内に拠点を持つ上場していない企業に限る。

(4)大学、研究機関：大学、高等専門学校、国立・公設試験研究機関、 研究開発を行っている独立行政法人及び公益法人

(5)応募時に、過去3年分の財務諸表を提出できる企業・団体等

(活動実績が3年に満たない場合は、最低1年以上の財務諸表を提出できる企業・団体等に限る)

ウェルビーイング・SDGs推進ファンド 概要③

- 対象事業：次の5つすべてを満たす事業
 1. 区の課題に的確に応える提案であり、区を実証実験のフィールドとする事業
 2. 公益性のある事業であり、一定の課題の解決や社会的要請に応えることができ、具体的な成果が見込まれる事業
 3. 予算の見積もりが適正であり、提案の翌年度以降、助成がなくても提案者によって実施することが可能な事業
 4. 先駆性、新しい視点、アイデアなどが含まれており、提案者の専門性や強みを生かした事業
 5. 国や地方公共団体から補助金等の交付を受けていない事業

ウェルビーイング・SDGs推進ファンド 概要④

• 選考方法

- 第一次審査（書類審査）および第二次審査（プレゼンテーション）

• 審査基準

- 事業目的（必要性）

アウトカム指標とは：

- 内容（有効性）

実施した事業の結果、区民や地域社会にとってどのような効果があったのかを数値で表すための指標

- 実施体制

- 成果：適切なアウトカム指標の設定、区全体への展開・効果波及

- コスト

- 将来性：助成終了後の事業の継続性

継続性：

助成終了後（原則翌年度以降）は、自走していくことが前提

ウェルビーイング・SDGs推進ファンド 概要⑤

・2024(令和6)年度の選定事業内容

-拠点型テーマ発見コミュニティの運営

子どもにとって、学校・家庭・塾以外の恒常的な居場所づくりで世代間交流や活動の幅を広げ新プロジェクトを創出

-目黒駅前ウェルビーイングupプロジェクト

孤独を感じるシニアや若者、子育て世帯向けに目黒駅前での各種イベントを通じた顔の見える世代間交流機会を創出

-こみゆにていぶらざ八潮をめぐるリジェネラティブなまちづくり

八潮の自然環境を活かした三世代が集うことができる場を、既存の資源を再利用して創出

-教育版Minecraftで目指すSDGsシティしながわ

教育版Minecraftを活用し、大人と子どもたちが一緒にSDGsや社会課題について学びあう機会を創出

(「しながわシティラボ」専用ホームページで詳細紹介)

ウェルビーイング・SDGs推進ファンド

概要⑥

・2025(令和7)年度の募集

-募集期間

2025年6月11日（水）

～6月30日（月）午後5時まで

-申請方法

申請書等をメールで提出

kikaku-sdgs@city.shinagawa.tokyo.jp

※しながわシティラボHPをご確認ください。https://shinagawa-citylab.jp/wellbeing_and_sdgs

-スケジュール（事業実施期間：2025年6月1日～2026年2月28日）

7月中旬	8月22日	9月上旬	9月中旬	2月～3月上旬	3月	3月
第一次審査 (書類審査)	第二次審査 (プレゼンテーション)	助成対象事業 決定	助成金交付 (概算払)	中間報告 実績報告	調査 助成金額確定	成果報告

SDGsに資する社会課題・地域課題解決のために

品川区をフィールドとした課題解決の実証実験をサポートします！

募集期間：6月11日（水）～6月30日（月）午後5時まで

品川区内の様々な地域課題解決に向けて、実証実験のフィールドや実証費用をサポートします

助成金：1年500万円、2年300万円

対象事業：SDGs推進ファンド

申請方法：メールで提出

募集要項

1. 応募資格
2. 応募書類
3. 応募方法

スケジュール

2025年6月11日～6月30日：募集期間
2025年7月1日～7月31日：第一次審査
2025年8月1日～8月31日：第二次審査
2025年9月1日～9月30日：助成対象事業決定
2025年10月1日～10月31日：実証実験開始
2025年11月1日～11月30日：中間報告
2025年12月1日～12月31日：実績報告
2026年1月1日～1月31日：調査
2026年2月1日～2月28日：成果報告

しながわシティラボについて

しながわシティラボは、市民生活の向上、地域課題の解決を目的として、SDGs推進を推進する。市民生活の向上、地域課題の解決を目的として、SDGs推進を推進する。

助成金交付申請書①

様式1
 ワールド・インク・SDG推進事業実行委員会 宛て
 「ワールド・インク・SDG推進ファンダ」を活用した助成金交付申請書
 助成金の交付を申請します。

助成申請金 額 ￥ **ア**

1 企業・団体の概要

フリガナ 企業・団体名	-----		
フリガナ 代表・代表者氏名	フリガナ	フリガナ	フリガナ
フリガナ 住所	〒		
フリガナ 電話番号	-----		
フリガナ 設立年月	年 月	法人取得年月	年 月
フリガナ 代表役員名	氏名(品川区長 氏)		
フリガナ 設立目的	-----		
フリガナ 事業(活動)内容	-----		
フリガナ 活動実施(区内、 代表的地域)	-----		

2 連絡先住所

フリガナ 氏名 住所	フリガナ	フリガナ	フリガナ
フリガナ 電話番号	-----		
フリガナ 携帯番号	-----		
フリガナ E-mail	-----		

3 他に申請する助成金等(度別申請)の有無(1)月～(2)月未満は対象外(3)月以上の場合は該当の番号を記入)

申請状況	申請年度・申請中	申請年度・申請済
申請状況	申請年度・申請中	申請年度・申請済
申請状況	申請年度・申請中	申請年度・申請済

ア

7 収支予算書 (C) と同額

様式1
 7 収支予算書

総事業費 (A)	円
助成金の経費 (B)	円
助成申請金額 (C)	円(千円未満は四捨五入)

イ

可能な限り具体的に記載

ウ

確実に連絡がつく連絡先を記載

エ

【注意】国や地方公共団体（品川区を含む）から補助金等の交付を受けている事業は**対象外**
 (参照) 実施要領
 7. 対象となる事業
 (5)国や地方公共団体から補助金等の交付を受けていない事業

助成金交付申請書②

様式1
④ 申請事業の目的・内容

申請事業名 **オ**
 事業実施期間 **カ**
※ 開始・終了の月を記載し、月単位で記入。1日、1週間単位で記入する場合は、開始・終了の月を記載し、日・週間単位で記入。

事業目的 **キ**
※ SDGsの達成に向けた、申請事業の具体的な目的を記載してください。

SDGs目標 **ク**


実施E・期間

実施場所
 対象地域
(指定しているエリアを記入)

対象者 **ク** | 対象人数
※ 性別別・年齢別・職業別等の属性を記載し、方法で対象者に該当する人数を記入。

性別	対象者		性別	人数
	女性	男性		
調査方法 (調査の目的)	アンケート			
調査対象	その他	(割合:)		
	その他	(割合:)		
委託費 (概算金額)	有 無	助成金対応		
	無 料			

オ 事業内容をイメージできる事業名

カ 提案事業で解決を目指す社会課題
 例) 地域公共交通のさらなる利便性の向上
 中小企業における脱炭素化の推進

キ どんな課題を解決するのか、なぜ課題ととらえているのか。根拠となるデータと併せて記載。
 例)品川区において、●●の割合が●%であり、都全体と比較して大きく、●●という課題がある。●●という点で新規性・独自性がある本事業により改善を図り、●●な状態を目指す。
 <審査基準>①事業目的（必要性）

- ・事業の目的が明確で、ファンドの目的に合致しているか。
- ・地域ニーズや地域課題、社会課題を正確に理解し、課題に対する具体的な解決策が示されているか。
- ・SDGsに資する事業であるか。

ク ターゲット層・アプローチ方法

助成金交付申請書③

様式1

※ 具体的に実施する内容(概略)を要約して記入

実施内容	
------	--

ケ

実証する内容の記載。
実施する事業を具体的にイメージできるように記載すること。
事業目的との整合性を要確認。
(図等を使用しても差し支えない。)

<審査基準>②内容(有効性)

- ・事業の内容が具体的で、目的と整合したものになっているか。

助成金交付申請書④

様式1

5 申請事業の計画・実施体制 ※事業の実施期間は令和7年6月から令和8年2月まで

①事業計画・スケジュール

予定 期間	内容 (計画・準備・実施・評価・成果確認等の項目を記すこと。また、具体的な担当者名、連携先・団体名、調整先(連携先)を記すこと。)	実施場所	参加人数(人)	
			企業 団体の 人数	区民 人数
			人	人

□ 企画から成果確認まで、具体的にスケジュールを記載。
 <審査基準>②内容（有効性）
 ・事業計画・スケジュールが具体的で、実現可能なものになっているか。

②実施体制

企業・ 団体内の 実施体制	実施事業での主要役割分担		氏名
	形態	内容・関係名称	
連携先		具体的な内容	状況

サ 企業団体内での体制を記載
 ・連携先の名称と連携内容、状況（連携済、調整中等）
 ・「経営分析資料」を提出
 <審査基準>③実施体制
 ・実施体制（財務状況、人材、技術等）や責任体制が明確であり、計画的な事業実施が期待できるか。

助成金交付申請書⑤

様式1
6 申請事業の効果

① 申請事業により得られる効果。※可能な限りアウトカム指標を設定してください。

対象	具体的効果(計測可能なもの)	効果測定の指標と測定(制御)の方法
区民・ 町或は区全体	●月時点経過中(2024年10月～2025年3月) ●事業終了時点	
申請企業・ 団体	●月時点経過中(2024年10月～2025年3月) ●事業終了時点	

② 助成金の有無により生じる効果の違い

③ 前項からの改善点(※計費に交付を受けられぬ事業と同 事業の機会に記入)

④ 助成期間終了後の事業計画(継続性)および資金計画

☒



事業実施により得られる効果を記載。

- 月時点：途中経過を測る任意の月を設定
- 単にイベントの開催回数や参加者数等だけでなく、可能な限りアウトカム指標を設定

< 審査基準 > ④成果

- 成果（時期、数値、指標、状態など）が具体的で計測可能なものになっているか。また、適切なアウトカム指標が設定されているか。
- 区全体への展開、効果の波及が期待できるか。



助成期間終了後の事業計画および資金計画

→「継続性」を記載

< 審査基準 > ⑥将来性

- 今後の事業の発展性が期待できるか。
- 助成終了後も事業の継続が期待できるか。
- 提案事業者の強みや専門性、独自性、先駆性が発揮できる内容であり、またそれが具体的に示されているか。

助成金交付申請書⑥

様式1

7. 収支予算書 セ

総事業費 (A)	日
助成対象経費 (B)	日
助成申請金額 (C)	日(千円未満は指す)

◆収入の部(収入予算)

種目	具体的内容	金額(円)	内訳
助成申請金額(C)			
事業収入 (参加費等)			
その他の収入 (寄附金等)			
事業・団体 負担金			
収入合計			助成申請額

◆支出の部(収支予算)

助成対象外	具体的内容	金額(円)	内訳・算出根拠 (算出・算出根拠経費)
旅費	交通費		
宿泊費	旅館・宿		
印刷費	印刷費		
役員費	役員費		
燃料料及 賃借料	燃料費 賃借料		
委託料	委託料		
人件費 (A)の1/2以内	人件費		
雑費			
助成対象経費計(B)			
助成対象外 経費			
【助成対象外経費計】			
総事業費(A)			額(B) 【助成対象経費】 額(A)合計と同額

セ

< 審査基準 > ⑤コスト

- ・収支のバランスがとれ、費用の用途は事業目的に対し妥当か。
- ・積算根拠が具体的かつ妥当に記載されているか。
- ・資金計画が具体的であり、資金確保が考えられているか。

◆収入の部

- ・助成申請金額(C)：助成対象経費計(B)の4/5(1/2)以内
- ・収入合計＝総事業費(A)となるよう収入項目に計上

◆支出の部

- ・費目ごとに内訳・算出根拠を記載。
- ・対象経費については算出根拠となる見積書を添付
 ※1回の支払いが10万円以上の経費は複数者見積必須
 (他社での調達難しい等、複数者見積が取れない場合は任意様式の理由書を添付)
- ・人件費：企業・団体構成員に対する支出とみなされる場合は助成対象外

参考資料

• 関係リンク先

- 「しながわシティラボ」専用ホームページ

<https://shinagawa-citylab.jp/>



- しながわシティラボへのご提案
- ウェルビーイング・SDGs推進ファクトへの申込
- しながわSDGs共創推進プラットフォーム会員申込
- 品川区SDGs宣言

- 「品川区SDGs未来都市計画」



<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/PC/kuseizyoho/sdgs/20241021084421.html>